

共同利用館の後継施設の 検討について

札幌市市民生活部アイヌ施策課

1

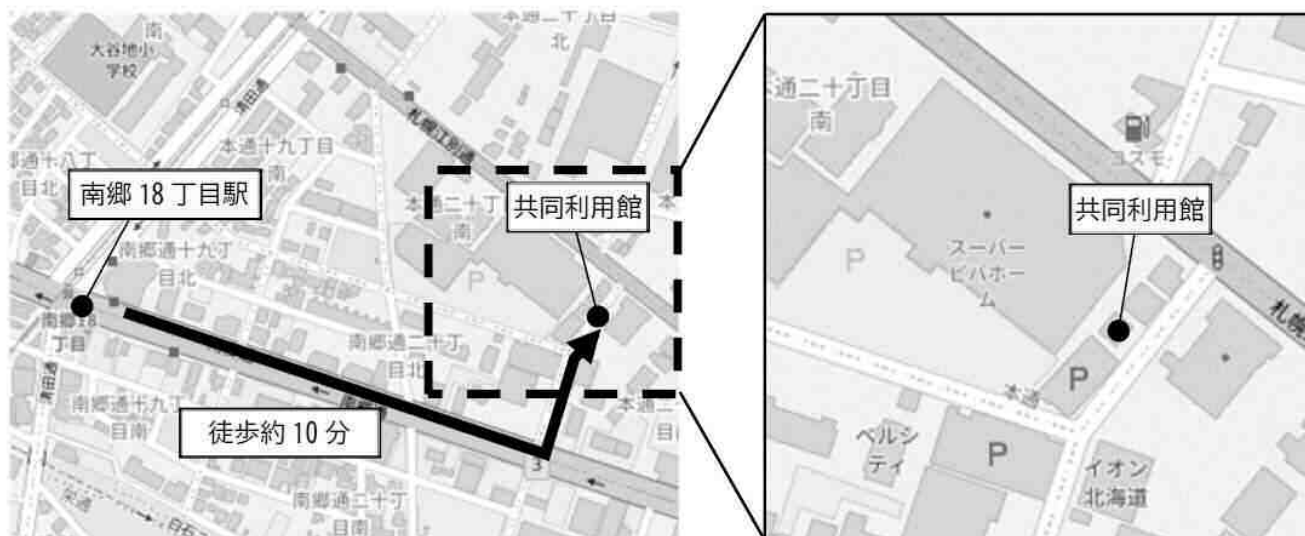
1 共同利用館の概要



名 称	札幌市共同利用館
所 在	白石区本通20丁目南1番56号
構 造	木造モルタル2階建（築44年）
面 積	延床199.26㎡、敷地300.01㎡

2

- 地下鉄東西線南郷18丁目駅から徒歩約10分

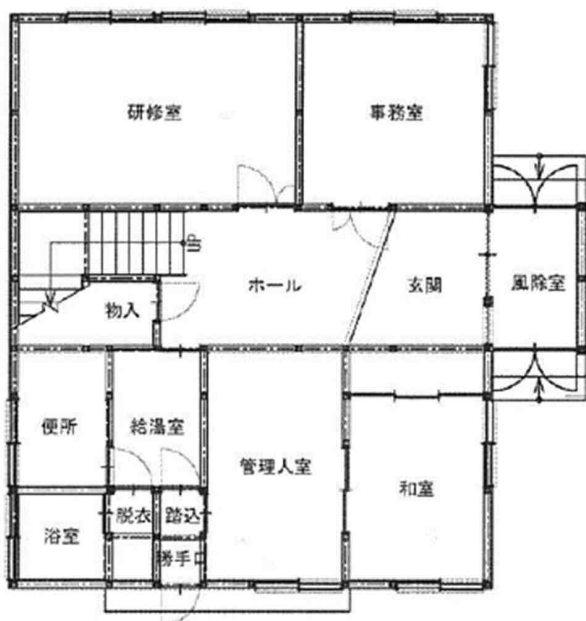


3

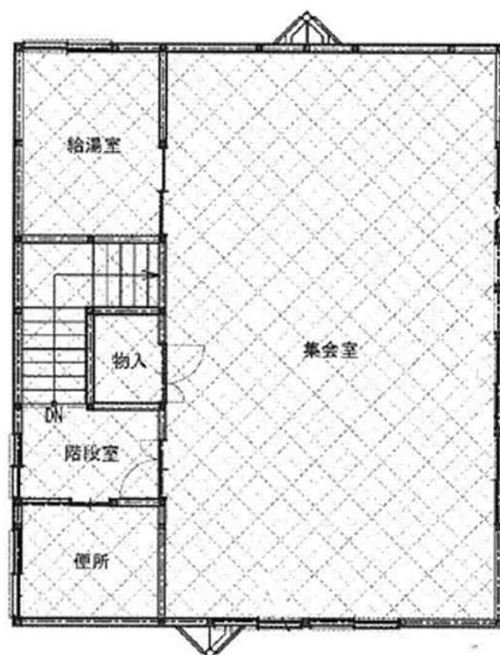
- 昭和53年12月に「札幌市生活館」として開館。
- 札幌市アイヌ文化交流センターの開設に伴い、平成16年度から名称を「札幌市共同利用館」に変更。（生活館機能はセンターに移行。）
- 行政財産（54.27㎡）
生活相談員事務室、研修室、玄関等共用部分
- 普通財産（144.99㎡）
集会室等を札幌アイヌ協会に貸付。アイヌ伝統文化の保存・継承等の自主活動の場として利用。

4

【1階平面（102.06㎡）】



【2階平面（97.20㎡）】



2 後継施設検討の必要性

- 共同利用館の老朽化（築44年）
 - 標準耐用年数（45年）を迎え、移転や建替え等が必要
- アイヌ民族の交流・継承の場の確保
 - 年長者から若い世代に伝統文化を伝える機会が希少



第2次札幌市アイヌ施策推進計画

・ 交流・継承の場の確保に関する検討

アイヌ民族が、世代間での交流を通じ、アイヌ語を始めとした伝統文化に関する知識や経験を継承していくため、交流・継承を行う場として、札幌市共同利用館の後継施設の確保に向けた検討を引き続き進めます。

3 後継施設検討の観点

●生活相談事業の継続

➤引き続き後継施設において生活相談を実施

●交流・継承の機会の確保

➤日常的に集える場所づくり（機能と施策）

●アイヌ文化交流センターと後継施設の役割

➤それぞれの役割の明確化

アイヌ文化交流センター	(現) 共同利用館
<ul style="list-style-type: none"> ・延床面積2,567㎡の施設。屋内外に豊富な展示。 ・アイヌ文化の歴史や伝統文化に触れることができる拠点として多くの市民・観光客が来館。 ・イベントや貸室を使用した伝承活動で利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄駅から比較的近い。 ・従来から多くのアイヌ民族が利用。 ・舞踊や刺しゅう、アイヌ語等の講座などで利用
相談室、展示室、交流ホール、会議室、調理室、木皮加工室、染色室 等	相談室、研修室、集会室

7

●後継施設の目指す姿

アイヌ民族が集いやすい施設？

市民や観光客を呼び込む施設？

●後継施設の立地

現在地？	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのアイヌ民族にとって慣れ親しんだ場所 ・アクセスはどうか
市内中心部？ (廃止施設の後利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・条件の良い土地や建物が見つかるか
公園？	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設として条件に合致するか ・利用者や関係者の理解

●生活館としての整備

8

4 参考事例（ウトウラノ）



名称	洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」
所在	洞爺湖町本町1の1
供用開始	令和3年4月1日
構造	木造平屋建
面積	延べ面積494㎡
工事費	190,179千円

9

- 交流ホールや会議室、研修室等を備えた施設
- アイヌ政策推進交付金で整備



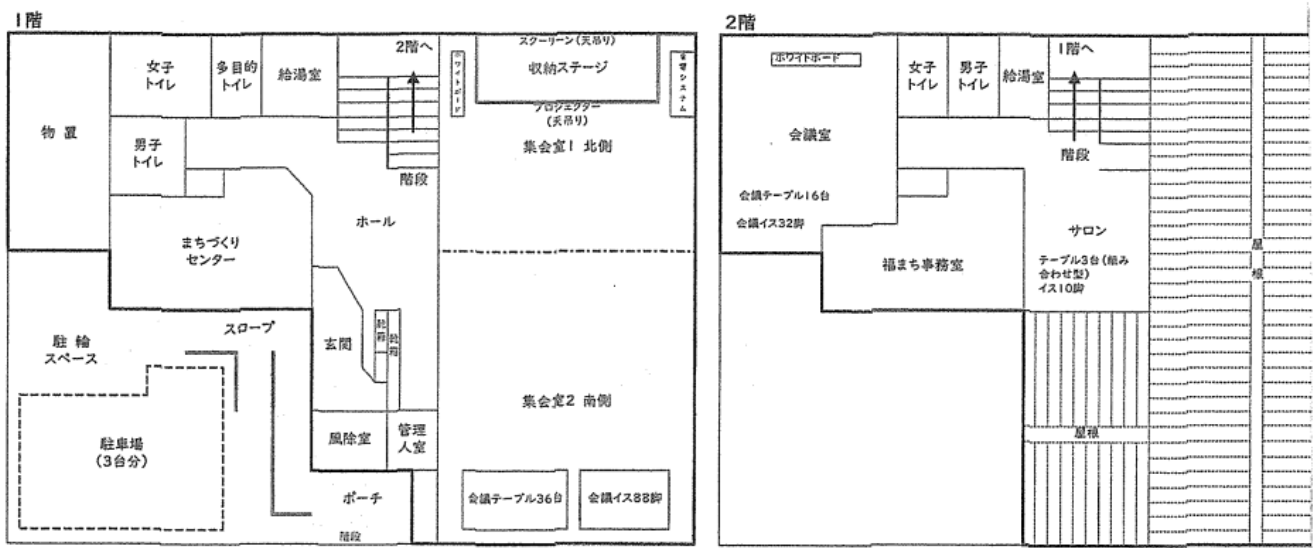
10

5 参考事例（北栄会館）



名 称	北栄まちづくりセンター ・北栄会館
所 在	東区北25条東7丁目11
竣 工	令和2年2月
構 造	木造2階建
面 積	延べ面積446.34㎡ 建築面積312.01㎡
工事費	204,466千円

- 集会室や会議室、サロンを備えた施設
- まちづくりセンターと地区会館が併設



6 整理が必要な主な事項

■後継施設の基本事項

- 後継施設の目指す姿

(例) アイヌ民族が伝統文化に関する知識や経験を継承していくため日常的に交流・継承を行う場

- 整備位置

■後継施設の機能

- 相談機能 → 相談室、相談員の配置
- 集会や講座 → 会議室、集会室・小ホール等
- 伝統料理 → 調理室

7 事前にいただいたご意見

■第1回部会（10/27）でのご意見

- アイヌ民族の憩いの場であるということと、外に開かれた観光客がたくさんくる施設でいいのかどうか、検討が必要。
- 現在の土地であれば単独の施設整備が可能。早く整備できるし、経費の面でも優れるので現在地がよい。
- 観光客や市民が来やすい中心部に近いところがよい。
- ハードルは高いと思うが、広大な公園の中というのが一番よい。
- 経費をかけずに別な土地を確保できるならよいが、それがむずかしいなら現在の場所で機能面に予算を回した方がよい。
- 複合施設でなく、単独施設であることが重要。

■参加者募集時にご記載いただいたご意見

→別紙